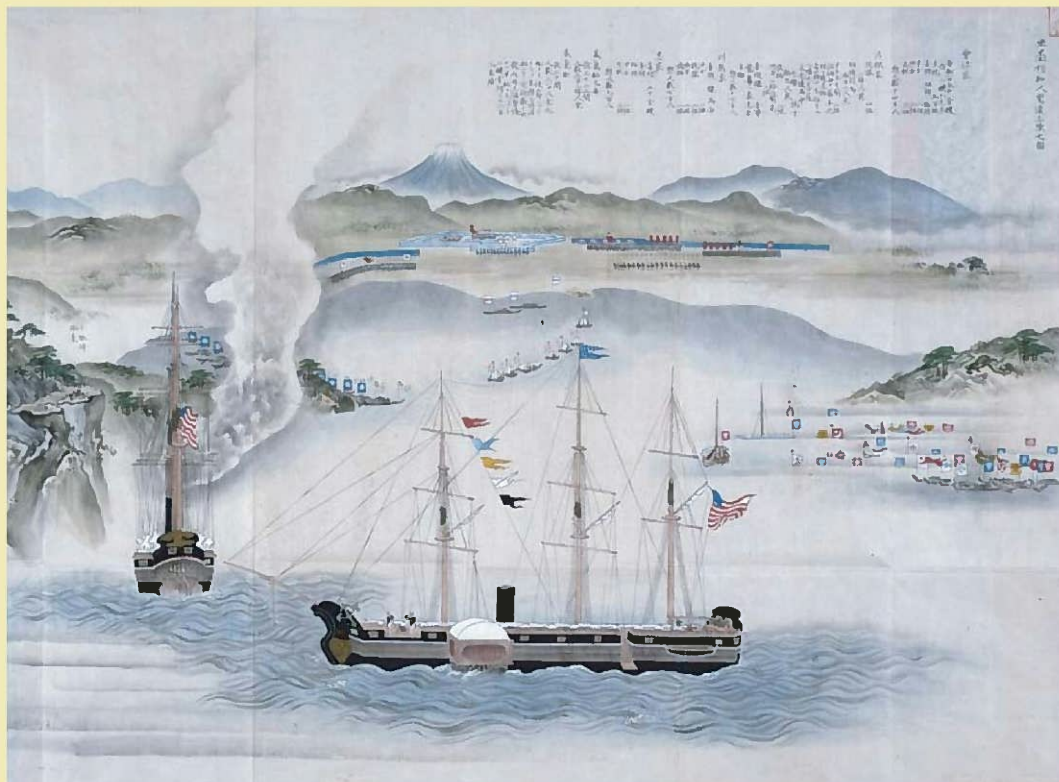


第5回配本

資料編 近世 I

史料が語る近世横須賀の営み



亜墨利加人栗浜上陸之図（盛岡市中央公民館所蔵）より

市制施行百周年記念事業
新横須賀市史
販売中

新横須賀市史 資料編 近世 I

価格（税込）4,000円 / A5判 1,159頁 編集・発行 横須賀市

購入方法

直接購入される方 横須賀市役所 本庁舎1階 市政情報コーナー・各行政センター・役所屋にて販売。

郵送でお求めの方

書籍の代金と送料を、現金書留で下記市政情報コーナー宛お送りください。~~送料は450円分の切手でお願ひします（1冊の場合）。2冊以上または他の刊行物とあわせて購入される場合は、送料を市政情報コーナーへお問い合わせ下さい。~~

※住所・氏名・ご希望の書籍名・冊数を必ずご記入ください。

横須賀市役所 市政情報コーナー

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町1-1番地 電話：046-822-8186

書籍の内容についてのお問い合わせ

横須賀市総務部総務課 市史編さん担当

電話：046-822-8150 FAX：046-827-4741

E-mail：shishi-ga@city.yokosuka.kanagawa.jp



新横須賀市史

資料編 近世Ⅰの魅力

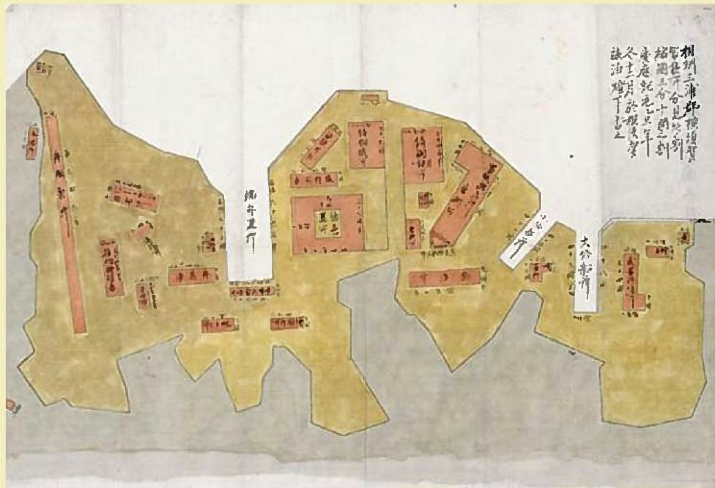
近世横須賀の未紹介史料を中心に収録

資料編近世Ⅰでは、横須賀市の内外に収蔵されている史料を幅広く収集し、テーマごとに九章立てとして掲載しました。各章のタイトルは以下の通りです。

- 第一章 近世の成立と三浦半島
- 第二章 浦賀奉行所の支配・機構
- 第三章 村の暮らしと生業
- 第四章 商業と流通
- 第五章 街道の負担と渡船場
- 第六章 寺社と村びと
- 第七章 異国船来航と海防体制
- 第八章 ペリー来航
- 第九章 開国から維新へ

近世横須賀の諸相

江戸時代、横須賀の人びとは、山・川・海に恵まれた三浦半島という自然環境のもと、様々な生業を営み、独自の文化を築いてきました。一方で、横須賀は江戸近郊という地理的条件もあり、江戸幕府の政策と密接に関わってきました。江戸時代の中頃には浦賀に奉行所が置かれ、海上の物資流通を統制しました。また、幕末期には海防の



相州三浦郡横須賀製鉄所分見地割
慶応元年(1865)12月
(横須賀市自然・人文博物館所蔵)

拠点となり、ペリー来航時に久里浜でアメリカ大統領の国書の受け渡しが行われるなど、開国へと繋がる歴史的な役割を果たすことになりました。さら

にはフランスの技術的支援を背景に横須賀製鉄所が建設され、後の近代産業の発展を支える基盤が形成されていきました。

江戸時代の横須賀を生きた人びと、その営みをひとつひとつの史料から辿っていきます。

五つのキーワードで近世横須賀を学ぶ

「横須賀の近世を学ぶために」を巻頭に設けて、最新の研究成果、基本となる文献などを紹介しています。ここでは「三浦按針」「浦賀奉行所」「浦賀湊の流通」「三浦半島の海防」「横須賀製鉄所」という五つのキーワードを挙げて、江戸時代の横須賀を知るための道標としました。

付録も充実

より多くの方々親しんで頂けるよう、本書には様々な工夫が凝らされています。

巻末付録には、村々の位置関係や道の様子が一目でわかる三浦半島図、江戸時代に横須賀の村々を支配した領主の変遷表、浦賀商人が使用した印鑑の一覧などを収録しています。また、各章ごとの内表紙には、テーマに沿った絵図や写真を掲載して魅力ある資料編となるよう心掛けました。

新横須賀市史 刊行計画 (平成・年度)

年	書籍名	年	書籍名
15	資料編 古代・中世Ⅰ	21	資料編 近現代Ⅲ
16	資料編 近世Ⅱ	22	通史編 自然環境・原始・古代・中世
17	資料編 近現代Ⅰ		通史編 近世
19	資料編 古代・中世Ⅱ	23	別編 軍事
	資料編 近世Ⅰ	24	別編 民俗
20	資料編 近現代Ⅱ	25	通史編 近代・現代
	別編 文化遺産		別編 年表
21	別編 考古		



好評発売中 4,000 円

『新横須賀市史』資料編 近世Ⅱ

新横須賀市史刊行のお知らせ
新横須賀市史は、市制施行百周年を記念して刊行する、本市初めての本格的な市史です。今回刊行の「資料編近世Ⅰ」は、平成十六年度発刊の「近世Ⅱ」とともに近世の資料編二巻を構成するものです。「近世Ⅱ」とあわせてご覧いただくと、近世横須賀の姿がより明らかになることでしょう。